# 令和3年度 第1回 栃木東部地域会議 会議録

令和3年4月22日(木) 栃木市国府公民館 大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

# 会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回栃木東部地域会議
開催日時	令和3年5月22日(木)19時 開会 20時30分 閉会
開催場所	国府公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職品	氏名 別紙1のとおり
その他出席者等	<b>別紙1のとおり</b>
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は	よ 公開
非公開の別	
傍聴人の数	0人
その他必要事項	頁
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	1 開会
	——開会——
	2 委嘱状交付
	一大川市長より各委員に委嘱状を交付―
	一大川市長あいさつ一
	3 委員及び職員紹介
	一地域振興部長、地域政策課長あいさつ一
	<市長、地域振興部長、地域政策課長 所用のため退席>
	─事務局職員、各委員の順に自己紹介─
	   4 栃木東部地域会議会長の選出について
事務局	・会長、副会長の選出について、どのような方法で選出したらよろしいか皆様
	からのご意見をいただきたい。
A委員	<ul><li>事務局で案があれば示してほしい。</li></ul>
事務局	・参考として事務局案を提示。
	会長に前期に副会長を務めた地域有識者の柏﨑桂二委員、副会長に栃木市ス
	ポーツ協会第12支部の出井康夫委員を推薦。
	この推薦に対する意見を求めた。
	<意見なしを確認>
事務局	・意見なしのため、会長に柏崎桂二委員、副会長に出井康夫委員を選出するこ
	とに異議があるか確認。
	<異議なしの声あり>

事務局

・異議がないため、柏崎桂二委員を栃木東部地域会議会長に、出井康夫委員を 栃木東部地域会議副会長に選出することを決定する。

<新会長、副会長あいさつ>

#### 5 議事

事務局

栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により、柏崎会長による議事進行。 〈本日の出席委員数の報告〉

本日の出席委員16名(委員総数16名) 過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立

## (1) 各種委員の推薦について

〈説明〉

事務局

- ・資料2に基づき説明。
  - ① 栃木市市民会議委員は、柏崎桂二委員が任期中のため継続。
  - ② 栃木市子ども・子育て会議委員は、穂坂孝司委員が任期中のため継続。
  - ③ 栃木市文化振興計画推進懇談会委員は、令和3年3月31日まで同委員を務めた大橋哲夫委員が適当であるとの意見多数のため、継続。

# (2) 地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について

〈説明〉

事務局

・ <u>資料3</u>に基づき説明。栃木東部地域会議で市に提案した4事業案について、 3月市議会定例会において、当初の予算要求どおりに議決された事を報告。

#### (3) 栃木市の地域自治制度について

〈説明〉

事務局

・資料に基づき説明。地域会議の成り立ちや、地域予算提案事業の仕組みな どを説明。

〈質問〉

B委員

・令和5年度の予算提案限度額が618万円とあるが、2年間の合計額という事か。

事務局

・そのとおり。緊急性のある事業で令和4年度に執行する場合は、半額の3 09万円が限度額となる。

C委員

・資料にまちづくり実働組織とあるが、まちづくり協議会と同一か。

D委員

・大宮地区においては同一である。大宮地区として大宮地区まちづくり協議会 を、まちづくり実働組織に認定したいとして申請した。

事務局

・国府地区もまちづくり協議会をまちづくり実働組織に認定している。他地域 においては複数団体をまちづくり実働組織に認定し、活動しているところも ある。

E委員

・栃木東部地域では、当初、国府地区と大宮地区を一つのまちづくり実働組織 として認定してスタートしたいとして進めていたが、両者がまとまらず、そ

れぞれのまちづくり協議会を実働組織として承認したと理解している。実働 組織が活用できる補助金で、「地域づくり事業支援補助金」があるが、栃木東 部地域内で運用できる金額に上限があるので、大宮・国府地区に分かれてい る現状では補助金が十分に活用にできていないと思われるがどうか。 事務局 ・成り立ちについては把握していないが、市として栃木東部地域内の2実働組 織を一本化してほしいとは考えていない。補助金は地域内や団体ごとに上限 があり、その中で運用することになる。 ・提案できない事業として「地域の課題解決に繋がらない事業」とあるが、ど E委員 の様な事業をいうのか。 事務局 ・地域課題の解決に合っているかどうかで判断される。地域会議で位置づけた 地域課題に対し、その解決策を地域会議だより等で住民に提案しても、理解 が得られないような解決策を指す。 ・地域予算を今期は2年との事だが、前期では実際、単年と同じような金額し F委員 か使わせて貰えなかった。ならば以前の様に単年で提案・事業実施して、早 くその成果を皆に喜んで貰った方が良いのではとも思う。 ・ 今期は1年半かけて検討し、地域の合意形成を図る事を重視する。このスケ 事務局 ジュールは、前期で栃木東部地域が実施した過程について、各地域会議の担 当間からも評判であった事によるものである。ご理解いただきたい。 会長 栃木東部地域会議のモデルが、全市的に広がったという事か。 事務局 ・地域予算提案事業の進め方について、これまで3期6年実施してきて、事務 局としても課題等が見えてきた事もあるので、進め方を改める予定である。 その点については、第2回会議でご説明したいと思う。 ・単年事業のスケジュールだと、4月から10月の6ヶ月で事業費まで算出し E委員 ないといけない。次回までに各委員が自分の推薦団体等から地域課題を研究 してきたら良いのではないか。そして次回会議で事業費を算出し、単年度な のか2年度なのか検討したら良いのでは。 会長 ・事務局からの話があったように、次回会議で今期の進め方について説明を受 けて、事業スケジュールを検討する。 E委員 ・本日、地域会議委員の委嘱を受けたが、委員16人の内訳が大宮7人、国府 9人とバランスを欠いているが何故か。 ・公募によるものである。公募委員の枠は2人で、3人の応募があった。応募 事務局 者は大宮1人、国府2人。作文による審査を行った結果、国府2人が合格と なった。地区のバランスが崩れる事も考慮したが、選考委員の評価により、 このような結果になった。

#### 6 閉会

・第2回栃木東部地域会議について <u>資料4</u> 令和3年5月27日(木)大宮公民館にて開催予定

----閉会----

(会議終了時刻 午後8時30分)

# 別紙1 出席者及び事務局

#### 〈出席者(委員)〉

会長 柏崎 桂二副会長 出井 康夫委員 赤間 シズ子委員 大武 真大武 真大武 真大武 真 大武 真 大武 真 大武 真 大武 真 長 昌光 委員 島田 研 委員 島田 研 委員 日光 子 貴 大政 章員 穂坂 孝司 委員 穂坂 孝司 委員 松崎 文子

#### 〈欠席者(委員)>

#### 〈事務局〉

中嶋 美佐 (栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長)

潮田 美紀 (大宮公民館館長)田中 賢太 (国府公民館主査)

# 〈その他出席者〉

大川 秀子 (栃木市長) 永島 勝 (地域振興部長)

加茂 浩史 (地域振興部地域政策課長)

## 別紙2 会議事項及び配付資料一覧

# 〈会議事項〉

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
  - 委嘱状交付
  - 市長あいさつ
- 3 委員及び職員紹介
- 4 栃木東部地域会議会長の選出について
  - 会長あいさつ
  - 副会長あいさつ
- 5 議 事
- (1) 各種委員等の推薦について
- (2) 地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について
- (3) 栃木市の地域自治制度について
- 6 閉 会
  - ・次回の開催予定について

# 〈配付資料一覧〉

• 令和3年度 栃木東部地域会議 名簿

資料1 資料2

・ 各種委員の推薦について

資料3

- ・ 地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について
- ・ 栃木市の地域自治制度〜地域会議のあらまし〜
- 令和3年度 栃木東部地域会議 開催予定表

資料4

・ 地域会議委員の手引き